

■ 多摩川ふれあい点検－多摩川水系河川整備計画を現地でフォローアップします

第4回 侵食集中対策箇所編

「多摩川水系河川整備計画」が、平成13年3月にできあがってから早5年が経ちました。整備計画は、多摩川を愛するたくさんの市民と行政と川の専門家がみんなで川を歩き、意見を交わして作った計画です。

平成15年度には河川整備計画のフォローアップが始まり、平成17年度からは河川整備計画フォローアップの一環として、市民と行政がともに河川整備計画での整備箇所を歩き点検する「ふれあい点検」を実施しています。

今回は、多摩川で実施している「治水事業」に焦点をあて、侵食集中対策(河岸の護岸整備)の箇所をバスで巡り、みなさんと意見交換をします。



日
時

2006年11月12日(日)13:00～17:00 雨天中止

行
程

JR南武線 矢川駅私有号→四谷上流地区(侵食対策済)→是政地区(モニタリング中)→下石原地区(今年度施工)→意見交換会会場へ

お申込み先 (申込書をご利用下さい)

- 建設技術研究所環境部
ふれあい点検受付担当
TEL:048-835-3738 E-
mail:fureai@tokyo.ctie.co.jp

お問合せ先

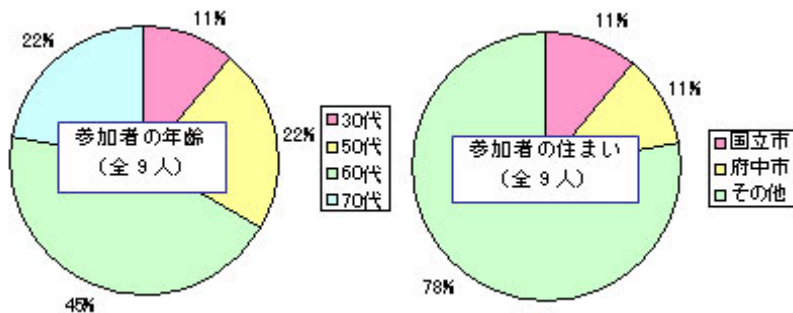
- 国土交通省京浜河川事務所
調査課
TEL:045-503-4008 <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin>



点検箇所間はバスで移動します

第4回 侵食集中対策箇所編－開催報告

- 日時 : 2006年11月12日(日)13:00～17:00(晴れ・最高気温15.2℃)
- 点検地点 : 四谷上流地区(施工済み箇所)、是政地区(モニタリング中)、下石原地区(施工中箇所)
- 意見交換会 : 府中市立教育センターにて
- 参加人数 : 9人



秋晴れの中、3箇所の点検を行いました。四谷上流地区は、施工済み箇所、整備後の植生の回復状況などを確認しました



下石原地区は、本年度施工中の箇所です。工事現場なのでヘルメットを被って点検しました。



是政地区は、整備予定箇所でしたが、モニタリングの結果、施工を見合わせているところです。堤防の上から、前面に砂州がついている様子を確認しました。



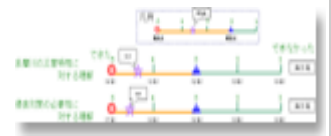
点検後、府中市立教育センターにて、意見交換会を行いました。図面を囲んで、多摩川の治水や管理について、意見交換がなされました。

第4回 侵食集中対策箇所編 一点検の結果(各グラフはレポート巻末に添付しています)

「侵食集中対策」の評価

●主な意見

- ・多摩川は整備も進み安全な川だと思っていたが、水衝部など危険がいっぱいあることにおどろきました。
- ・水衝部は自然環境がよいところなので、画一的な護岸工事は残念です。



◎点検からいえること

- ・土砂供給、魚道とも、平均点が4点以上で概ね理解・評価されている。

「四谷上流地区」の評価

●主な意見

- ・整備の必要性は、よく理解できました。
- ・緑の回復は見られますが、景観的に個性に貧しいです。



◎点検からいえること

- ・理解度、評価ともに平均点が4点以上であり、概ね評価されています。

「是政地区」の評価

●主な意見

- ・モニタリングで当面事業を中止しているのはよいと思います。
- ・ワンド状の静水面があったので、残してほしいです。



◎点検からいえること

- ・理解度、評価ともに平均点が4点以上であり、概ね評価されています。

「下石原地区」の評価

●主な意見

- ・工事現場は普段はあまり行かないので、説明を受けて何をやっているのかよく理解できた。
- ・自然や利用にも配慮して工事を行ってほしい。



◎点検からいえること

- ・ 工事への理解、安全度への評価は、平均点で4点以上であり、概ね理解・評価されている。
- ・ 環境への配慮は平均3.6点であり、いっそうの配慮が必要である。

第4回 侵食集中対策箇所編－意見交換会でいただいた主なご意見

<四谷上流地区について>

- ・ 自分の住んでいる地域(河口から50km地点)よりも水量も多く、流れの様子も違っていたので、整備の必要性はよく理解できました。
- ・ 緑の回復は見られますが、景観的に個性に貧しいと感じました。
- ・ 法枠内の洗掘部を放置したままにしておかない様をお願いします。



<是政地区について>

- ・ モニタリングで当面事業を中止しているのはよいと思います。
- ・ ワンド状の静水面があったので、残してほしいです。
- ・ 貴重な植物や昆虫が生息している地域なので、十分モニタリングを行ってほしいと感じました。
- ・ いい感じのワンドが出来ています、こういうのを残して整備してほしいと思います。
- ・ 人口も多く、利用も多いため、工事には住民の理解が求められるのではないのでしょうか。また、もっとたくさんの人に見てもらいたいと思いました。



<下石原地区について>

- ・ かつてから高水敷幅が狭く危険だと思っていました。工事が始まったのは、住民の安全のためにはよいことです。ただし、工事内容が画一的だと感じます。生物多様性の面や子どもたちのアプローチ等にも配慮してほしいです。



・工事の住民へのお知らせはどのようにしているのですか。

→（回答）

府中市の広報誌に載せてもらいました。近隣の自治会では回覧板で回してもらいました。今後は、利用者にも周知していきたいです。



・工事が進んでいますが、左岸側のみお筋を変えたところにはまだ魚もたくさんいました。工事で魚が埋められないか心配しています。

→（回答）

漁協と協力して、救出作戦を実施する予定です。地元の有識者に意見を聞きながら環境に対して配慮していきます。



＜侵食集中対策事業について＞

・多摩川は整備も進み安全な川だと思っていました。パンフレットを見て「危険がいっぱい」というのに驚きました。

・工事後のモニタリング調査はしていますか？

→（回答）

モニタリング調査は随時行っています。京浜河川事務所のホームページで、事業の内容と進捗状況を紹介していますが、モニタリング結果についても報告していきたいです。



・どこまで河岸が削れることを許容できるかを見ながら、もう少し見守り、川に任せていくことはできないでしょうか。

→（回答）

許容の範囲として、防護ラインを設定しています。防護ラインまでは、削れても見守ることを基本としています。



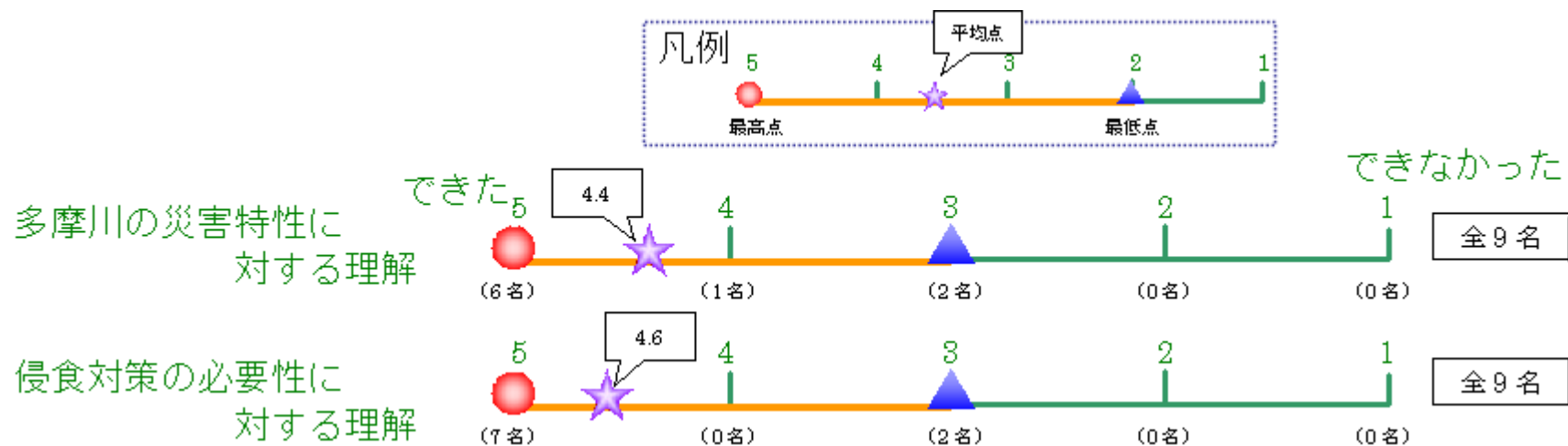
・堤防を強くするために、スーパー堤防という事業があります。多摩川では考えていますか。

→（回答）

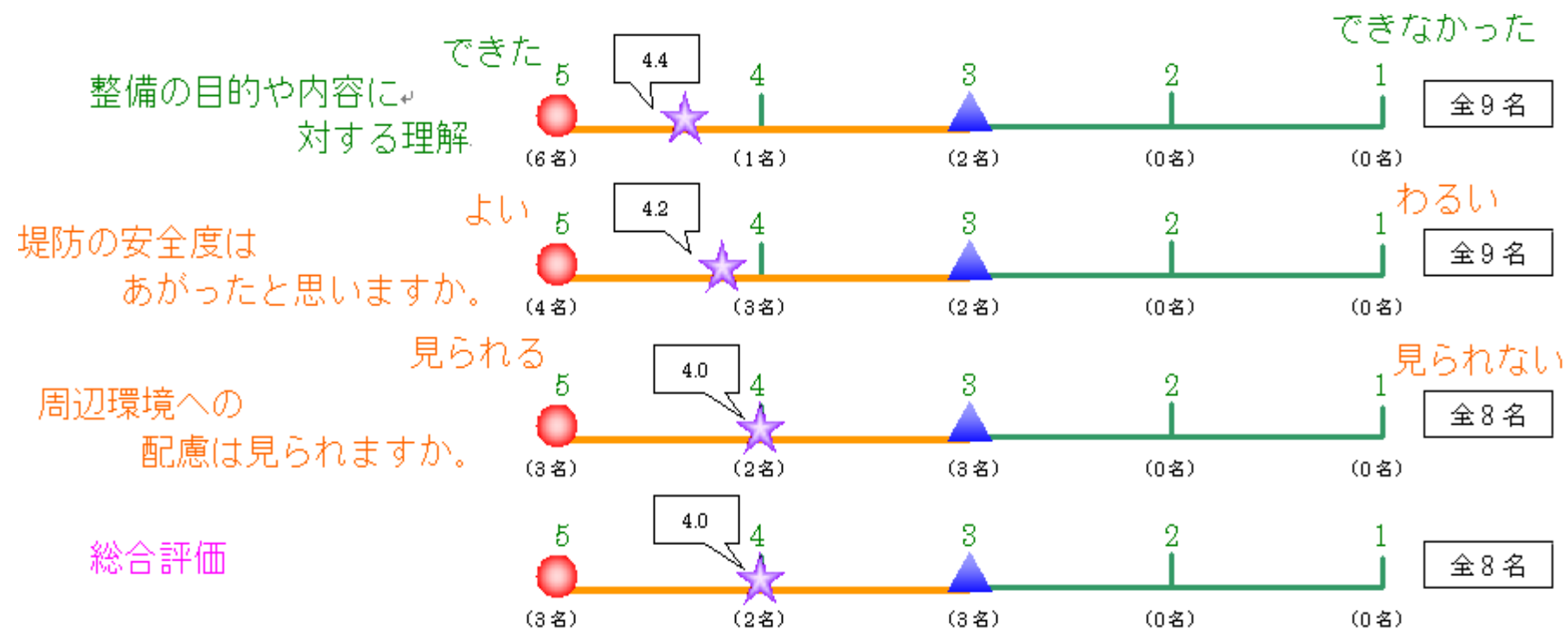
中・下流部を中心にすすめているところです。



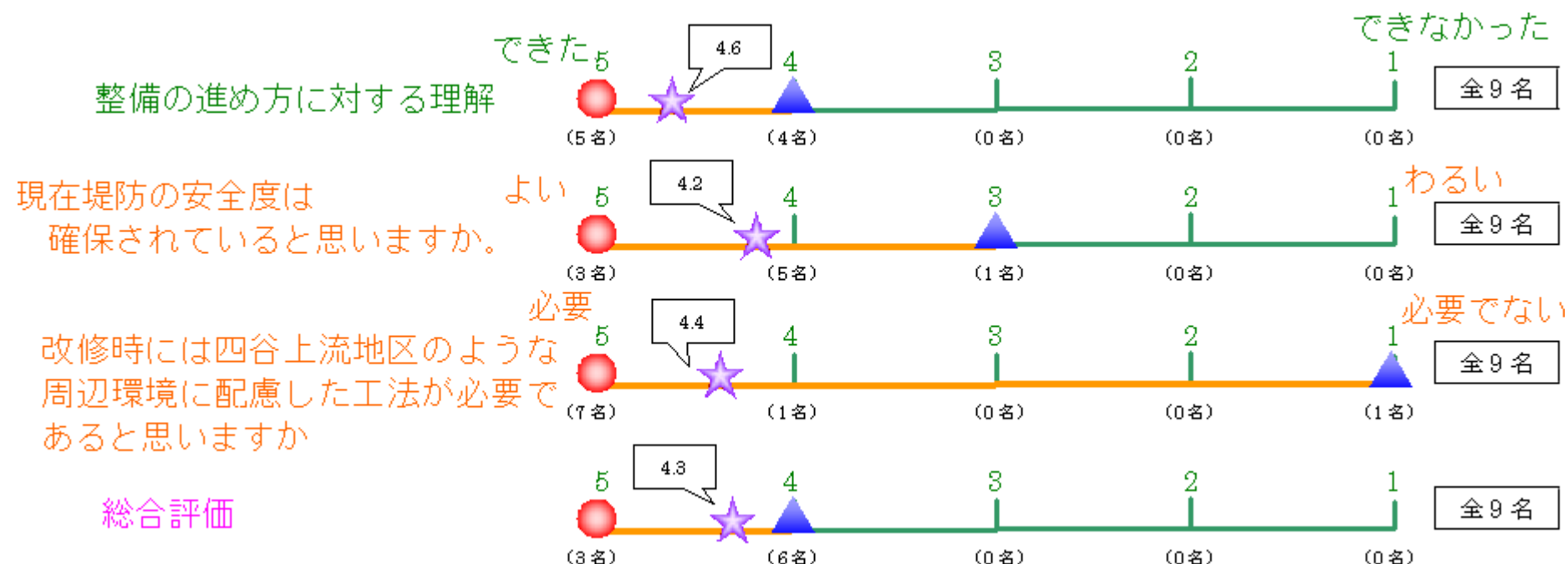
「侵食集中対策」の評価



「四谷上流地区」の評価



「是政地区」の評価



「下石原地区」の評価

